湯梨浜
ゆりはま

議会だより

第25号
平成22年５月１日発行

げんき・いきいき・かがやきのまち

春爛漫！
心もからだも
ウキウキするね

３月定例会

平成22年度予算可決　2面
一般質問　６人の議員が問う　6面
議会全員協議会　協議内容　12面

発行／鳥取県東伯郡湯梨浜町議会　〒682-0723　鳥取県東伯郡湯梨浜町大字久留19番地1　TEL 0858-35-5341

限られた財源で地域の元気創出

平成22年第４回 ３月定例議会

平成22年３月定例議会が、３月11日から３月18日までの８日間の会期で開催されました。

初日には町長が施政方針を述べました。

①地域の元気創出
②子育て環境の充実
③教育環境の充実
④産業の活性化
⑤地域福祉の充実
⑥安心・安全な地域づくり

この６点を基本的な考えとすることを表明しました。

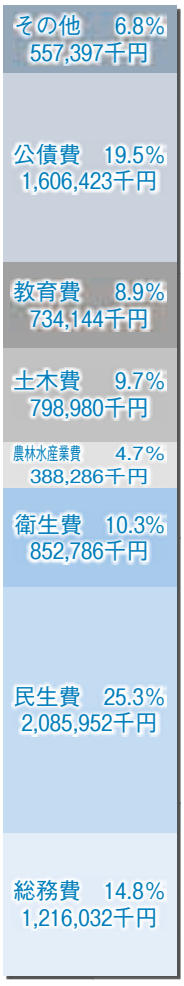
今議会に提案された条例の一部改正、補正予算などは、原案のとおり可決しました。

また、平成22年度一般会計、特別会計、企業会計など合わせて20会計については、予算特別委員会を設置し、集中審議を行い、全て原案どおり可決しました。

平成22年度一般会計予算

82億4,000万円

新たに取り組むおもな事業



中学校への図書システム導入

高齢者の肺炎球菌予防接種費用の助成

町福祉事務所の設置準備

路線バスの高齢者定期券購入の助成

きびしい目でチェック

平成22年度予算特別委員会

平成22年度予算は、予算特別委員会を設置し、3月15日、一般会計をはじめ20会計予算について審議しました。

審議内容の一部は、次のとおりです。

Q 働きたくても仕事が見つからない人が多くいるが、町としての支援は。

A 雇用をする企業が元気になるために、セーフティネット、農業については、チャレンジプランなどの制度を設けている。国の経済対策のための一時的な事業でも、必要なものは単町で続けたい。

Q 町に設置する予定の福祉事務所の具体的な構想は。

A 現在、中部福祉事務所で行っている事務を、来年4月に町に設置する福祉事務所で行うこととなる。具体的には、生活保護などの事務手続きがすべて町で行えることとなり、より速い住民サービスが提供できる。

町内産業が元気になるための支援が必要

Q 県外に向けての町特産品、観光のPRは。

A 通年で販売できる特産品の取り組みを支援したい。販売促進にあたっては、農協や生産者などと一緒に取り組むことが大切だと思う。

町の観光協会では、体験型観光を検討することとしている。

Q 東郷中学校と北溟中学校に導入される図書設備とは。

A 図書の情報をデータベース化し、コンピュータで管理する仕組み。図書貸出しなどの作業時間が短縮し、生徒の読書意欲を向上することが目的。夏休み中にデータ入力作業をし、2学期から運用の予定。

湯梨浜町の豊かな自然を活かした特産品

Q 同和関連予算、地区学童生徒指導費が計上されているが、全児童に公平に学習の機会を与えるべきでは。

A 学習会には、地区外の子どもも参加している。勉強よりも、同和問題に出会った場合にきちんと向き合える力をつけるよう人権学習に主眼を置いている。

Q 男女共同参画について、女性が公民館長・区長になって活躍できるよう行政が後押しすべきでは。

A 各地域から推薦される場合、配慮をいただくことも考えたい。町内事業所においても、男女共同参画を推進する取り組みを予定している。

Q 有害鳥獣対策協議会が設立されたが、構成員、活動内容は。

A 農協、農業共済、猟友会、農業委員会、県などの20名程度で構成。広い範囲で鳥獣の侵入防止の効果が出るよう協議会で検討する。

Q 子ども手当について、所得制限なしに現金給付するのはどうなのか。

A 子育ての上で直接使われるお金の出し方が良いと思う。保育料などの滞納部分に充てて支給することも必要と考える。

Q 自治基本条例策定事業について、意図するところは。

A より幅広い住民の皆さんの行政への参画を目的としている。これからのまちづくりに、住民参画は不可欠である。

Q 町史データベース化事業について、元になる資料の管理はどうなっているか。

A 歴史的価値のあるものは、永久保存すると定め保管している。旧町村の町史が残り少ないため、データベース化し、今後の世代に残したい。

Q 屋根のないごみステーションでは、ブルーシートを張って紙類の再生資源を置いているところもあるが。

A ごみステーションの新設、改修には助成制度があるので、利用していただければと思う。

次代を担う子どもたち

平成22年度 予算特別委員会報告

平成22年度の当初予算について、一昨年の米国の金融危機に端を発した世界的な不況の中、本町においてもその影響は大であり、町税の減収と今後の地方交付税の増加が見込めない厳しい財政運営のもと、基金取り崩しも避けて通れない状況である。

その中で、町長の施政方針に基づく適確な行政サービスの提供が、町民の満足度を目指すものとして十分に予算に反映されているか、また各種事業が真に町民が求めている方向で効果が発揮されているのかという視点にたって、委員一同慎重審査の結果、付託された20会計について原案のとおり可決することが適当であると決した。

なお、審査の経過の中で、公共施設の運営について精査する時期にきているのではないか。各種事業の執行に当たってはその費用対効果を検証の上、具体的な取り組みへつなげること。第2次町総合計画など各種の計画策定にあたっては、評価をしっかり行なうことなど活発な議論が展開されたことを申し添える。

さらに、近い将来起債償還のピークを迎えることに鑑み、厳しい財政状況並びに今後の方針を正確に町民に示し、議論を尽くしながら、共通認識のもと今後のまちづくりに邁進していただきたい。

予算執行にあたってはあらゆる角度から事業を精査され、公平・公正かつ町民の安心・安全な暮らしのため、限られた貴重な財源を有効活用して、元気な湯梨浜町を生み出す施策に取り組んでいただくことを強く求める。

慎重審議、特別委員会の様子

平成22年度予算のほか、3月定例議会に提出された議案は次のとおりです。

補正予算

☆一般会計

歳入歳出それぞれ1億6809万5千円を減額し、予算総額を93億9791万5千円とするもの。

主な内容は、介護基盤緊急整備事業補助金、広域連合火葬場建設負担金、FTTH基盤整備事業などの減額補正。

☆国民健康保険事業特別会計

歳入歳出それぞれ3757万円を減額し、予算総額を18億4421万6千円とするもの。

主な内容は、高額療養費の増額に対し共同事業拠出金の減額補正。

☆下水道事業特別会計

歳入歳出それぞれ1470万4千円を減額し、予算総額を16億8929万6千円とするもの。

主な内容は、管渠築造工事の実績による工事請負費、長期債償還利子の減額補正。

その他、後期高齢者医療特別会計補正予算など、合計15会計補正予算が提案され、原案どおり可決。

条例関係

☆農産物加工等施設の設置及び管理に関する条例

「ふれあいセンターあじさい」の加工室を全面改修し、営業許可を取得したことにより、「活性化センターはまなす」・「ふれあい施設農産物加工所」と設備が同等に整ったため、3施設の設置及び管理条例を見直して一本化したもの。

社会福祉協議会が管理を行う「つわぶき荘」

☆都市公園条例の一部改正

「東郷運動公園」の多目的広場の整備に伴い、利用料の金額を変更するための条例の一部改正。

その他、職員定数条例の一部改正など、合計10条例の改正・廃止が提案され、原案どおり可決。

指定管理者関係

☆保健福祉センター「つわぶき荘」

（指定の期間　平成22年4月1日～平成25年3月31日）

指定管理者

社会福祉法人　湯梨浜町社会福祉協議会

人事案件

今回、副町長の選任、人権擁護委員1名の方の任期が満了することに伴い、提案された人事案件についての推薦に同意。

（敬称略）

☆副町長

（任期　平成22年4月1日～平成26年3月31日）

仙賀　芳友（佐美）

☆人権擁護委員

（任期　平成22年7月1日～平成25年6月30日）

秋下　和馬（はわい長瀬）

その他

☆倉吉市との間における定住自立圏形成協定の締結

倉吉市と、湯梨浜町をはじめ近接する4町が連携し、安心して暮らせる圏域の形成、発展と一体化を目指し、1対1で締結する協定の締結について可決。

定住自立圏、協定書合同調印式

☆工事請負契約の締結

「東郷運動公園」の多目的広場を人工芝化するための工事請負契約の締結について可決。

※請負契約金額
8053万5千円
※契約の相手方
有限会社　山口建設

6人の議員が問う 一般質問 ここが聞きたい!

平成22年３月定例会の一般質問は、第３日目の３月13日（土）に行われた。

質問議員６人が登壇し、町政全般について熱心に議論を展開した。

３月定例会本会議（議場風景）

Q雇用促進住宅の取得対応は
A更なる検討をしていく

入江　誠 議員

雇用・能力開発機構が、遅くても2021年までには、雇用促進住宅を譲渡・廃止する方針の中で、琴浦町が有償譲渡を3月末に受けることとした。「雇用促進住宅・東伯宿舎」を町営住宅とし、安価な家賃で定住化を促進しようとしているが、本町の取得に向けた考え方について伺う。

また、本町が取得しない場合、現在（55戸、174名）の住民への対応を含め、どういった本町独自の対応策を考えておられるのか伺う。

答弁（町長）

平成17年7月に「雇用促進住宅・羽合宿舎」の購入の意向調査があり、平成20年2月には「20年度中に譲渡希望が無ければ民間に売却、不調の場合は廃止」する旨の通知を受けたが、年々入居率が低下していることに加え、取得資金の問題、維持管理経費など、熟慮しなければならない課題も多くある。国の情勢も見ながら更なる検討をしていく。

仮に、廃止が決定されても、入居者への対応を検討する時間も確保できると考えている。

どうなる？雇用促進住宅

Q住宅などの耐震化補助は
Aブロック塀なども対象とする

上野昭二　議員

国が平成18年1月26日に施行した「改正耐震改修促進法」では、特に住宅などの耐震化率を90％以上へと目標改正し、県においても平成20年度に改正され、このたび町でもようやく改正されようとしている。

しかし、建築物に含まれるブロック塀などが補助対象から除外されており、防災に重要な避難路の確保がおろそかにされ、町民が国や県の有利な補助制度が受けられない状況について伺う。

ブロック塀の前も重要な避難路

答弁（町長）

国の補助基準は門、塀は住宅とあわせて実施の場合にかかる耐震改修限度額4万8千円となっている。県の補助基準は、道路に面した対象物も限度額150万円となっている。

平成21年6月に国、県の要綱が変更になり、擁壁・ブロック塀では住宅の改修とあわせての実施の場合に補助対象となる。補助基準の1/4を町負担で補助対象とする。

Q避難所などの防災計画は
A再度見直しを進める

防災計画で指定している避難所の当初収容可能人員は、時間経過とともに状況変化に伴い相当減少している。耐震補強がされていない建物を除外した場合、特に東郷地域全体では収容人数が800人となり、地域住民の収容率も13％に低下し、極端な収容不足が起こるが、行政は何か適切な対策を立てているのか伺う。

また「災害時要援護者避難支援計画」は、どの様な災害を想定した計画策定を行い、そして避難支援者の二次災害などに対する危機管理は、計画責任者の行政が負うのか伺う。

答弁（町長）

耐震補強が見込めない施設やなくなった施設の代替により避難施設の充実は困難な状態である。

各地区の公民館を一時避難所としていただく。収容人員以上の避難者が出たときは、校庭にテントを設置したり、仮設住宅設営など避難施設の確保に努め、再度見直しをする。

要援護者避難支援として、大規模災害発生直後での避難支援者の任命・地域住民の協力・共助が必要である。

二次災害については、非常勤公務災害補償の対象とする。

求められる避難施設の確保（町防災訓練）

Q次期町政への決意は
A全力を傾け取り組む

平岡将光　議員

湯梨浜町二代目の町長に就任され、本年10月には一期4年の任期を終えられる。

国も地方も厳しい経済状況の中であったが、町長は町民の負託にこたえ、数多くの事業と湯梨浜町発展の基礎造りに取り組んでこられた。町民は、宮脇町長に大きな信頼と、さらなる期待を寄せているところである。

今後10年、20年かかるであろう、夢のある事業の種を蒔くべき時と考えるが、次期町政へ向けての「決意」を伺う。

答弁（町長）

町政の課題のいくつかが具体化し、町政の道標である第2次湯梨浜町総合計画を策定する時期である。

これらのことに一層の精力を傾け取り組みたい。

願わくば、引き続き町政に携わり、美しく活気があり、温かさと魅力にあふれ、多くの人が集まる町、そのような湯梨浜町のまちづくりに住民の皆さんと手を携えて頑張りたい。

将来の湯梨浜町が持続的に発展するための基盤づくりに全力を傾けたいと思っている。

平成22年度が最終年度となる第１次総合計画

Q朝の10分間読書の現状は
Aさらに充実したい

毎朝学校で授業が始まる前の10分、全校児童と先生が一緒になって、好きな本を読む。

朝の読書はよりよい人間関係とコミュニケーションを豊かにする手段である。

10分間読書をどのように推進されるか伺う。

一、各小中学校における朝の10分間読書の現状と、今後の取り組みは。

二、朝の10分間読書を、保護者の皆さんはどのように理解し、応援しているか。

三、町内の図書館の利活用の実態は。

答弁（教育長）

一、朝の読書活動は、全ての小中学校で取り組んでいる。

集中力を高める事ができるなど、高い評価がなされている。教育委員会としても、この取り組みを継続し、さらに充実したものにしたいと考えている。

二、朝の読書のねらいや概要については、学校からの情報発信でご理解いただいている。

また、保護者の方にも、本の読み聞かせなどボランティアで協力いただいている。

三、図書館の利活用は、増加の傾向にあり、住民の皆さんに定着してきたように思われる。

高い評価がなされている朝読書

Q環境型社会への本町の取り組みは
A住民の皆さんと協働で取り組む

会見祐子　議員

環境型社会を目指す、わが町のリサイクル率は低い。町民との協働、啓発の推進、ごみ減量の対策はできているのか伺う。

各団体が資源ごみのリサイクル協力、ごみ処理機の補助事業、生活ごみ減量への取り組みに対して数値を公開し指導することが大切と思う。

他町村の取り組みを参考にし、1億9000万円の経費のうち、協働により削減できれば町民に還元できる。その還元金で15歳までの子どもの医療費を無料にするなどの政策は考えられないか伺う。

答弁（町長）

本町の平成19年度の1人1日あたりのごみ排出量は75・7gで県内19市町村中10位、リサイクル率は19・7％で14位となっている。

本年度から「ふるさと雇用再生特別交付金」を活用し、生ごみの分別収集を開始した。

また、「電気式家庭用生ごみ処理機」の購入費を助成（2万円を限度）する制度の啓発も行っている。

現在の状況など、情報を提供し啓発に努めながら、住民の皆さん、女性団体連絡協議会をはじめとする各種団体の皆さんと協働で取り組んでいきたいと思う。

ごみの減量の取り組みを協働で

Q生涯学習における公民館のあり方は
A地域活動に積極的な支援

今年3月末で閉鎖するハワイ元気村での地域活動を、公民館で行うと町長は答弁されたが、住民の希望どおりできるのか伺う。

公民館は、住民自らが企画・参画し、子どもや老人がサロン的な感覚で使え、仲間つくり・場所つくり・生活つくりができる運営が求められる。

生涯学習の立場から、児童虐待・高齢者虐待・高齢者犯罪・ひきこもりの急増・中高年者の自殺者の急増など問題解決へ向けた取り組みを伺う。

地域活動の拠点、公民館

答弁（町長）

利用者の皆さんに、これまでの活動が阻害されることのないよう、個別に活動場所を検討し、概ね調整ができた。

それぞれの施設について、住民の皆さんの要望を伺いながら適切な措置を講じたい。

虐待に関する相談制度や自殺対策など、様々な施策を講じている。

公民館活動だけでなく、町のあらゆる取り組みの中で、地域連帯意識の高揚につながるよう努めるとともに、住民の皆さんの取り組みには積極的な支援を行いたい。

Q田後保育所の自園調理は　A自園方式にしていく

増井久美　議員

羽合地域の浅津保育所・橋津保育所・羽合幼稚園の一体化施設は、自園給食調理の方向で計画が進められている。この施設が完成すれば、長瀬保育所には調理施設がすでにあり、ないのは田後保育所だけということになる。この点について町長に伺う。

未満児の入所が増え、定員いっぱいで狭いクラスがある。面積基準についての考えを伺う。また新保育所指針のもと、保育士の仕事量の増加も考えられる。保育士の配置についての考えを伺う。

答弁（町長）

羽合地域の保育所給食については、新たに整備する幼保一体化施設と同じく、他の保育所についても自園方式にしていく。

満2歳に満たない乳児を受ける保育所には、必ず「乳児室」または「ほふく室」などを設けなくてはならない。

乳幼児1人につき定められた面積要件があるので、十分に受け入れできるだけの部屋面積を確保しなければならない。

保育士の配置については、従前どおり国の基準に従った保育士配置をしていく。

おいしい給食を、真心こめて「あさひ保育所」

Qまちづくり創造事業へ引き続き支援を　A新年度に助成拡充し予算計上

まちづくり創造事業は、住民との協働を目指し行われてきた。予定の3年が経過したがどう評価しているか。せっかく定着した事業が、助成がなくなることですたれることのないよう、引き続き助成をするべきではないか。

また毎年行われている自主公演事業とは何か。昨年の「火の鳥」の上演は観客が非常に少なくもったいなかった。チケットを売る努力をしなかったのではと批判があった。小中学生を招待するなど、町民文化の向上に努力するべきではないか。

答弁（町長）

各団体とも町と連携を取り、貴重な時間や労力を費やしがんばっておられる。

この事業は、湯梨浜町の名を県内外に強烈にアピールし、町の団結力を高めるのに効果をもたらしている。

また、湯梨浜の産品の活用、文化の保存や振興、環境活動に優れた取り組みもあり、今後とも期待をしている。

まちづくりへの貢献及び定住、湯梨浜町のPRが期待できる団体に対し、金額は落とすものの、さらに3年間の助成ができるよう拡充し、新年度予算に計上した。

※増井議員は、このほか「子宮頸がん予防のワクチン接種に公費助成をしてほしい」「子どもの貧困について」の一般質問をしました。

全国からの参加者でにぎわう中華コスプレ日本大会

Q 建物の貸付料「タダ」は納得できない
A 最大限の支援をする

石井輝美 議員

新たな雇用を生む今回の企業進出は歓迎すべきものと考えるが「至れり尽くせり」ではなく「ギブ・アンド・テイク」の立場でのぞむべきだ。

町長は元羽合西小の建造物を企業に貸し付けるにあたり「金をもらうと補助金を返還しなければならなくなる」と説明。

疑問に思った私の問い合わせに、県教委の回答は有償貸付けをしても補助金返還はないから心配しなくてもよいというものだが、建造物貸付けの「適正な対価」とはいくらなのか。

答弁（町長）

補助金返還問題は、副町長が県教委の担当課長へ確認したところ、コミュニティ施設条例がある中で施設共用する場合、条例で定めた目的外で有償利用させる際には、国の補助金を返還しなければならないという回答を得ており、これまでの説明に誤認はない。

建造物貸付けの適正な対価は、土地と同様に県の基準に1/2を乗じた約500万円程度となるが、企業誘致をする以上、可能な限り最大限の支援をしていきたい。そして、障がい者と高齢者の雇用の場を確保していきたい。

福祉型の農業事業で期待される雇用創出
㈱センコースクールファーム鳥取（地鎮祭）

Q 減免基準の見直し・整備状況は
A 税については減免基準の見直しをする

昨年9月議会の一般質問で、国保税や町民税などの減免基準の見直し、国保の病院窓口負担や保育料・介護保険の利用料などの減免基準の整備を求めたところ、町長は「減免基準に関する具体的な基準をつくっておくべきだなと感じました。よく検討してみたい。」と回答された。もうそろそろ成案を得るに至っても良い頃と考えますが、取組み状況は。

町税等を滞納している場合、減免措置を適用しないとの規定では、現在の滞納者の救済につながらないのでは。

湯梨浜町例規集

答弁（町長）

生活困窮者や生活保護家庭などに関する町民税、固定資産税、国保税については、これまでの減免基準の見直しを行って改正し、具体的な減免基準などの要件を明らかにした上で、平成22年度より適用するようにしている。

保育所、幼稚園の保育料も税などと同じ取扱いをする。

上下水道料金については、生活保護費の積算の中に含まれており、減免は妥当でないと考える。

介護保険料の減免基準については、条例に具体的な例示を行っているため改正は必要ないと考える。

町税等の滞納者に対する減免措置は原則適用できない。しかし、いろいろな事情で減免申請ができなかった事情を考慮し、対応したい。

議会全員協議会

3月11日 3月18日 開催

3月定例会の初日と最終日に議会全員協議会を開催。

ここでは主な協議の内容について、Q&A方式により掲載します。

Q IP電話サービス（町内無料電話）がつながらないことがある。

A 電話機と音声告知機を電話線で接続する。これは、個人がやる必要がある。

相手が接続してないとつながらない。接続

FTTH基盤整備事業竣工式

促進は、今後も行いたい。

Q 上下水道使用料の不納欠損で転居先不明とあるが、対策は。

A アパート、貸家など住所を置いたままいなくなる場合がある。

申し込み時に緊急連絡先を聞くようにしている。状況を見て給水停止も行う。

Q 上水道料金の滞納による給水停止の期日などガイドラインはあるか。

A 約束をしても納付がない方に対して、約2ケ月を目途に給水停止を行っている。

3月中にもマニュアルを作っていく。

Q 瀬戸内海放送の画像が途切れることがある。その原因は。

A TCC局のアンテナに電波が届かないことがある。TCCで調査をしている。

Q 桜小学校跡地に「さくら工芸品工房」、羽合東小学校跡地施設の解体状況などケーブルテレビで適宜放映しては。

A 町の重要案件について職員がケーブルテレビに登場し、放映していくやり方を考えている。

Q 「さくら工芸品工房」の入居状況は。

A 喫茶店、2工房が決まった。現在、2部屋の空きがある。

活動拠点として入居していただきたい。

地域に愛されるお店を目指して
「さくら工芸品工房」

常任委員会 審議内容

総務産業常任委員会 3月12日

Q 定住促進対策事業で、空家バンクを広報紙で周知、ホームページで不動産と連携するなどの方策をとられるのがいいと思うが。

A 宅建協会、区長会などで情報をお願いしている。

湯梨浜町ホームページに掲載したい。

Q 固定資産税課税地目をどのように現状把握しているか。

A 評価は、年に1回現況調査を行うこととされている。

課税地目に異義がある場合などは、職員が現地を確認して対応している。

課税地目は、課税明細で確認できるようになっている。

Q 湯梨浜町鳥獣被害防止計画で捕獲員の人数を何人にすれば、イノシシ、カラス、ヌートリアなどの個体数が減少できるか、具体的なものが見えてこない。

A この計画は、侵入防止柵の設置、個体数を減らす2本立てになっている。できるだけ具体的数字をあげていきたい。

梨園に設置された電気防護柵

魅力あるプランで事業を展開「国民宿舎水明荘」

Q 水明荘の事業収入を経済不況により減額されているが、宿泊予定数、努力目標は。

A 昨年の宿泊は16、400人。今年は、宿泊予定数16、650人の目標を立てている。インターネットを利用しての予約受付に力を入れている。いろいろなプランで集客に努める。

Q 水明荘の衛生対策は。

A 全部のセクションで指の手洗い、アルコール消毒を励行している。

法令を遵守し、しっかりと衛生管理を行っていきたい。

教育民生常任委員会
3月12日

Q 東郷地域の保育所・幼稚園のあり方について子育て支援課が中心になって進めているように感じる。教育委員会と一緒になって取り組んでいる姿勢を見せる必要があるのでは。

A 当初、教育委員会が後ろにいたという印象を与えてしまった。保護者の方に説明し、現在は同一歩調で話を進めている。

東郷地域の保育所、幼稚園の今後は？

受診率アップを図りたい健康診断

Q 特定健診の受診率が低い理由と今後の対策は。

A 受診勧奨するなど啓発活動を行ってきたが、住民の方の健診に対する意識向上には至らなかった。

平成22年度は、受診券を発送後に再度確認の意味も含めて申し込みを受け付ける。広報車によるPRも引き続き行っていくなど、より積極的に啓発に努める。

Q 児童虐待の問題がたびたび取り上げられるが、対応は。

A 身体検査時に十分目を光らせて異常はないか確認するなど、現場対応をしている。

Q 女性特有のがん検診の健診率が低いが。

A 現在、レセプト（診療報酬明細書）による医療費分析を行っている。結果が出しだい早期発見、早期治療を促す意味でも、分析結果を公表し、受診率の向上につなげたい。

2階を貸し出すこととなった「役場東郷支所」

Q 小規模多機能型居宅介護の事業者選定の審査委員の構成は。

A 介護保険事業計画・老人福祉計画推進委員会の委員と副町長の11人で構成している。

Q 「役場東郷支所」を地域活動応援室として部屋を貸し出す使用許可団体に「公益性」とあるが、どのあたりまで考えているか。

A 難しい問題だが、申込を受けて判断することとなる。

第1回（1月）臨時会

第1回臨時議会が1月19日開催されました。

平成21年度湯梨浜町一般会計補正予算（第6号）ほか1件の町長提出議案について審議、採決が行われ、原案どおり可決されました。

☆一般会計補正予算

主な補正内容は、次のとおり。

●幼保一体化施設新築工事に係る基本設計業務の増額、羽合東コミュニティ施設解体工事設計監理委託料及び工事請負契約の請差の減額

●東郷運動公園整備事業として多目的広場に人工芝を敷設するための委託料、工事請負費の増額。

☆財産（土地・建物）の貸付について

●羽合西コミュニティ施設の土地及び建物の一部を進出企業に貸し付けることについて

一般会計補正予算ほか2件の補正予算、及び条例の一部改正1件の町長提出議案について審議、採決が行われ、原案どおり可決されました。

また、『幼保一体化のあり方について』の議会教育民生常任委員会の報告もおこなわれました。

☆一般会計補正予算

国の第2次補正予算「地域活性化・きめ細かな臨時交付金」に係る本町への交付分を活用して実施する事業を補正計上。

☆下水道事業特別会計補正予算

「野花中継ポンプ場」中継ポンプ1台を更新するもの。

☆農業集落排水処理事業特別会計補正予算

マンホールポンプの監視と緊急時の対応のため光ケーブル（ＦＴＴＨ）に接続するもの。

第2回（2月）臨時会

第2回臨時議会が2月5日に開催されました。

指定管理者の指定についてほか2件の町長提出議案について審議採決が行われ、原案どおり可決されました。

☆物品売買契約の締結について（学校情報通信周辺機器）

☆物品売買契約の締結について（北溟中学校教育用コンピュータ等）

☆指定管理者の指定について（湯梨浜町立温泉ふれあい会館）

指定管理者を（財）東郷温泉龍鳳閣振興公社とするもの

第3回（2月）臨時会

第3回臨時議会が2月22日に開催されました。

『幼保一体化のあり方について』

教育民生常任委員会報告

1．湯梨浜町においては、乳幼児の保育、教育と小中学校児童生徒の教育を一貫した教育方針のもとで推進されることを求める。

そのため、0歳児から中学校卒業まで一貫した保育、教育方針のもと、湯梨浜町の子ども達は、湯梨浜町で育てるという町の方針を明らかにし町民に発信されたい。

2．乳幼児の保育、教育においては、湯梨浜町のすべての子ども達が同じ内容の保育、教育を受けられるよう統一した育成方針、カリキュラムのもとで、乳幼児保育、教育を推進されることを求める。

具体的な取り組みとしては、

①湯梨浜町のすべての幼稚園、保育所を幼保一体化施設とし、3歳児、4歳児、5歳児の幼児教育の向上と保育に欠ける子どもの保育体制の充実を図られたい。

②職員組織の一体化を図り、それぞれの機能を有機的に発揮して教育、保育体制の充実を図りながら、職員の研修交流を積極的に推進し、保育、教育にかかる専門性及び質のさらなる向上に努めるとともに、事務の一体化により効率的な運営形態に取り組まれたい。

行政視察受け入れ

八頭町議会、学校・保育所統廃合等調査特別委員会調査研修

●期日　2月24日

●調査事項　保育所の公設民営等のメリット・デメリット

研修では本町の長瀬保育所が公設民営として運営委託した経過、運営費等について熱心に尋ねておられました。

八頭町議会による調査研修（長瀬保育所）

陳情審査

３月定例会において常任委員会に付託した陳情は、慎重に審査を行い次のとおり決定しました。

件名	陳情者	審査結果
貴自治体における平和教育の推進を求める陳情書	反核･平和の火リレー鳥取県実行委員会 実行委員長　足立　崇	趣旨採択
安心・安全な公共事業を推進するため、国土交通省の事務所・出張所の存続を求める意見書の採択について	国土交通省全建設労働組合 中国地方本部執行委員長 末永　敦 国土交通省管理職ユニオン 中部支部執行委員長 川崎義夫	趣旨採択

◎議員発議で政府に意見書を提出

☆ **「ヒロシマ･ナガサキ議定書」のNPT再検討会議での採択に向けた取り組みを求める意見書**
提出先：内閣総理大臣、総務大臣、外務大臣、衆議院議長、参議院議長

議会からのお知らせ

一般質問の平日開催

議会改革の一環として平成19年6月定例会から、平日に仕事などで議場に来られない住民の方に傍聴していただき、もっと議会を身近に感じていただくことを願って一般質問の休日開催を実施してきました。

当初は約20人の傍聴者がおられましたが、回数を重ねるごとに減少し、現在では数名程度となりました。これを受け、町議会では、昨年の6月から、検討してきました。

ケーブルテレビ放送により家庭でもご覧いただくことができる。また、町の関係する大会、イベント、近年町内各地区、集落での事業が休日に集中して行われることが多くなっていること。全国的な傾向として多くの自治体が取り止めを考えていることなど開催の意義を勘案し、平成22年6月定例会からは、一般質問は、平日開催することにいたしました。

今後一層の開かれた議会を進める方法を検討してまいりますので、ご理解をいただきますようお願いいたします。

事務局人事

4月1日付の職員人事異動により、議会事務局局長に次のとおり異動がありました。

平成19年からお世話になっておりました秋草一洋が中央公民館へ、新たに総務課から瀬戸隆行がまいりました。

どうぞ、みなさまよろしくお願い申し上げます。

瀬戸隆行　局長

湯梨浜の誇り１００選より紹介

三八市

10月の3と8の付く日に松崎三区を中心に市が開かれます。

昔は、日用雑貨や鍬、荒物などの農具、野菜などが店先に並び、近隣の泊や池向こうの浅津などからも買い物に来る人が多くありました。

現在、市とともに昔の写真が店先に飾られ、レトロな雰囲気も味わえます。

四ツ手網

四ツ手網は、東郷池に伝わる独特の仕掛け網で、四隅に竹を張り、湖岸の小屋から滑車で上げ下ろして、エビや小ブナなど取る漁法です。

最盛期には松崎の湖岸沿いに24、5基が並んでいましたが、現在は松崎の湖岸に2つ、水明荘の裏に1つ観光用に残され、東郷池の風物詩の一つになっています。

議会の傍聴をお気軽に

皆さんが選んだ議員が、どんな活動をしているか、また、身近な問題がどのように処理されているか関心がありませんか。議会の日程などは、議会事務局にお問い合わせください。

議会及び議会事務局に関するご意見をお聞かせください。

☎３５－５３４１　　メール　ygikai@yurihama.jp

あなたの声をお待ちしています。

編集後記

平成22年度予算が成立し、卒業式から入学式へと春の恒例行事も終わり、ようやく新年度の慌ただしさが一段落。また、新副町長以下の職員異動も行なわれ、新体制が整い新年度もスタートしました。

合併以降、行革が叫ばれ様々なことが施行されて来ました。でも、財布の中身ばかりが重視され、夢を語るフロンティア的発想は何処へやら…。せめて議会人は、夢前案内人でいなければと想う今日このごろ。これからも町民のみなさんへ情報発信を続けます。

（記　上野）

議会広報調査特別委員会

委員長　浜中武仁
副委員長　河田洋一
委　員　入江　誠
〃　上野昭二
〃　会見祐子
〃　吉村敏彦